

会 議 名	令和5年度第1回 木更津市駐屯地に関する協議会区長部会		
開 催 日	令和5年9月6日(水)	場 所	駅前庁舎 防災室・会議室
時 間	午後4時30分～午後5時15分まで		
出 席 者	石井委員(木更津市企画部長・部会長)、遠山委員(新宿区長)、小原委員(吾妻区長)、友野委員(中里2丁目区長)、新堀委員(江川区長)、飯塚委員(久津間区長)、石井委員(久津間住宅区長) 加茂1等陸佐(陸上自衛隊第一ヘリコプター団 高級幕僚)、姫野2等陸佐(陸上自衛隊第一ヘリコプター団第三科長) 白川室長(北関東防衛局地方調整課基地対策室)、渡邊係長(北関東防衛局地方調整課基地対策室)		
議 題	木更津駐屯地に配備されている航空機の運用に関する懸念事項等について(公開)		
そ の 他	なし		
配 付 資 料	01 会議次第 02 委員名簿及び出席者名簿 03 【資料1】木更津駐屯地に関する協議会の概要 04 【資料2】第3回木更津駐屯地に関する協議会定例会の開催結果 05 【資料3】木更津駐屯地に配備されている航空機の運用に関する懸念事項等について(参考資料)第3回木更津駐屯地に関する協議会定例会議事要旨 (参考資料)木更津駐屯地に関する協議会設置要綱 (参考資料)木更津駐屯地に関する区長部会設置要領		
概 要	議題 木更津駐屯地に配備されている航空機の運用に関する懸念事項等について【説 明】 ●青木 木更津市企画課基地対策係長説明 説明資料3に基づいて説明 【主な質疑応答・意見等】 友野委員)(資料3の木更津駐屯地からの対応方策について)努力はしているのかもしれないが状況は変わらない。騒音については、極端な話かもしれないが慣れた。昨日は9時17分まで、車のエンジン音でいうと2500回転から3000回転で唸るような音が続いた。寝ようかと思ったら、窓がガタガタいうだけではなくて、家族も寝られなかったと言っていた。新日鉄の方からの南西の風のときの騒音は、地元の中里にすごく響く。あと、海側で地上から10mか15m程の高度で長時間ホバリングをしている際の音が非常にうるさい。 木更津駐屯地を暫定配備先として選んだ理由の1つに、1500mの滑走路長を有するというのがあったが、現在、オスプレイは滑走路を使用していないのではないか。ほとんど翼が上を向いたまま離着陸していると思う。 姫野第三科長)滑走路を使用していないのではないかというご指摘については、実際に滑走路を使用している。車輪を付けて離着陸をするということではなくて、オスプレイは、回転翼モードで機体を前方に傾けながら加速して固定翼モードに移行するが、加速する際に必ず滑走路を使用している。なぜ滑走路を使用するかというと、何か不具合があった場合に、安全に着陸するためである。 また、昨日、21時17分まで音が聞こえたことに関しては申し訳ない。21時までを目途に訓練を実施するよう配慮するが、訓練内容や天候等により厳密にお約束することはできない。どうしても夏場だと、20時頃まで明るいので、遅い時間でないと暗闇での飛行訓練ができないということもあり、ご理解賜りたい。ただ、毎日訓練を実施するのではなく、分散して実施する等の努力をしまいたい。 飯塚委員)昨年、部会に参加した際は、区民の方から、上空を頻繁に飛行していることと騒音がうるさいことについて 2,3 件あったが、今年は、そのような話は、現時点ではでていないため、騒音や時間帯など少しは改善されたのかなという認識でいる。		

	石井委員)騒音については、ある程度は仕方ないと思っているが、先日、新聞で予防着陸についての記事が掲載されていた。ローターの中で部品が摩耗するから金属片が発生するのは当然のことだというような表現があった。離着陸の前後で点検を実施していると思うが、その時点で飛行ができないという判断にはならない程度の軽微なものであったということか。 姫野第三科長)金属片の発生により予防着陸したが、なぜ予防的な着陸をしたかという、V-22 オスプレイは、かなり高度なセンサーを多数搭載しており、非常に安全に気を遣った機体で、何か少しでも不具合の兆候が出ると、着陸をして点検を促すセンサーが付いている。そのセンサーの指示に従って操縦士は着陸をした。 石井委員)極端に言うと、そのまま飛行続けても支障がない程度のことという理解でいいか。 姫野第三科長)飛行時に軽微なものかどうかの判断ができないため、飛行を継続せずに、センサーの指示に従って、今回は金属片がついたということだが、現在、その金属片の分析をしている。 遠山委員)警告ランプ等について、専門書によると日本が一番厳しくチェックを行っているとのこと。アメリカでは、多少のことは問題ないと判断することも多いようだ。日本は厳しくチェックしてくれているため、より安全に飛行できるという認識に立った方がいいのではないかと考えている。専門書に目を通すことも必要だと思う。 小原委員)西の空にオスプレイが飛行しているのを見かけるが、はじめオスプレイの音かどうか分からなかったが、先ほど友野委員が言ったように、気になるのは夜遅くまで訓練している音である。自然災害等が起きたときのために必要な訓練だと思っているが、21時を過ぎても実施するのかという感覚である。 また、オスプレイが来るといったときに、自宅上空で取材用のヘリコプターが飛行していることがあるが、取材用のヘリコプターは自衛隊の上空を飛行することはできないと思うが、取材するときは何メートルか離れて飛行するといった決まりはあるのか。 姫野第三科長)取材用のヘリコプターが、地上から何メートル以上といった決まりはない。また、管制官から航空機の間隔を保つために、距離と高度の差をしっかりと取るようにと指示が出るため、自衛隊機が飛行しているところに、他の航空機が近づいて来ることはない。飛行場の周辺を飛行するという観点から、他に我々が承知している民間機としては、小櫃川の金木橋付近及びアウトレット付近で、夜間に客を乗せて航空機を飛ばしている民間の会社があるため、取材ヘリのみではないと承知している。 新堀委員)駐屯地内の整備用の格納庫はいつ完成するのか。また、格納庫建設用の工事車両が通る際に、交通誘導員を配置していただき感謝している。 白川室長)現在整備しているものについては、令和5年度中の完成を予定していると承知している。 石井部会長)現在整備している格納庫とは別に、もう一棟格納庫を建設するという認識だがそのあたりについて説明いただきたい。 白川室長)現在整備中の格納庫は米軍用であり、今後、自衛隊用として一棟建設予定であり、令和7年度中の完成を予定している。 石井部会長)同じ場所に2棟並んで建設するということか。 白川室長)そのとおりである。 新堀委員)引き続き、交通安全に協力いただきたい。 遠山委員)取材用のヘリコプターについては、本当にうるさい。先日、地震が発生した際も飛行していたうるさかった。 また、先日、千葉方面から来た知人が潮干狩り場に行った際に、オスプレイが飛行しているのを見て、感心していた。日本で唯一オスプレイの飛行を楽しみながら潮干狩りができるということ売りにもできるのではないかと感じた。 【その他】 無し
--	--